

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1. 日時 令和7年8月30日(土) 10:00~12:00
2. 場所 アットホームウーノららら 交流室
3. 出席者

【構成員】7名

利用者・・・・・・・・・・2名（わっはっは1名、ららら1名）
利用者家族・・・・・・・・・・3名（わっはっは1名、ららら2名）
地域の関係者・・・・・・・・1名（民生・児童委員）
福祉に知見のある人・・1名（大学教授）

【職員】4名

管理者、サービス管理責任者、事務局長、顧問行政書士

4. 概要

(ア) 施設見学（10:00~）

- ① グループホームわっはっは見学
- ② グループホームららら見学

(イ) 会議（11:00~）

- ① 議題
 1. 開会あいさつ
 2. 出席者の紹介
 3. 地域連携推進会議について
 4. グループホームについて
- ② 質疑応答・意見交換

5. 会議内容詳細

(ア) 開会あいさつ

- ① （管理者）猛暑の中での参加に感謝を述べ、会議の目的（地域連携の強化と情報共有）を説明した。

(イ) 出席者の紹介

- ① （サービス管理責任者）出席者の紹介を行った。

(ウ) 地域連携推進会議について

- ① （顧問行政書士）地域連携推進会議の4つの目的と会議の役割について説明した。

(エ) グループホームについて

- ① （管理者）施設概要
 1. わっはっは: 女性専用、定員5名。平成18年6月開設。当初は男女混合だったが、令和4年より女性専用ホームとなる。
 2. ららら: 男性専用、定員5名。平成26年5月開設。
- ② （管理者）利用者状況:
 1. 生活状況: 両ホームとも、現在は安定した生活を送っている。
 2. 日中活動: 多くの利用者が就労継続支援 B 型事業所に通所している。その他、生活介護、一般就労の利用者も在籍している。
- ③ （管理者）職員体制と研修

1. 体制: 管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、世話人、夜間支援員で構成。
 2. スタッフの高齢化が課題であり、特に夜勤対応可能な若手スタッフの確保が急務である。
 3. 研修は虐待防止、感染症対策、人権研修などを定期的実施し、サービスの質向上に努めている。
- ④ (管理者) サービス内容と活動報告
1. 食事の提供、金銭管理や服薬管理の支援、健康管理(通院同行等)等のサービスを提供している。
 2. 池袋防災館での防災体験や横浜カップヌードルミュージアム訪問等の余暇活動を行った。また、定期的に地域住民への挨拶回りや交流イベント(ウーノまつりなど)を実施している。
- ⑤ (管理者) その他・今後の課題等
1. 過去には近隣住民からの苦情(騒音、利用者の行動に関する不安)もあったが、対話と対策により現在は解消傾向にある。
 2. わっはっはの移転について、現行の賃貸契約が令和 10 年 11 月で満了するため、移転先の確保が必要である。予算と物件の要件の兼ね合いで難航している。
 3. BCP(事業継続計画)について、感染症や災害発生時の対応計画を整備・見直しを行っている。

(オ) 質疑応答・意見交換

- ① (利用者家族) 会議を通しての感想
- 施設運営にあたって随分苦勞なさっていると思った。
- ② (利用者) 共同生活で気になること
1. 他の利用者の物音(特に夜間のドアの開閉音)や共有物の管理について気になることがある。
 2. (回答) 冷蔵庫やスタッフルームの扉は、閉め忘れ対策を兼ねて音が鳴るセンサーを設置する等の対策を行っている。率直に話していただき、感謝している。
- ③ (利用者家族) わっはっはの移転について
1. わっはっはの移転は決定しているのか。
 2. (回答) 契約満了に伴うものであり、移転は決定している。現在、物件探しに難航しているが、利用者に不安を与えないよう努めている。
- ④ (利用者家族) 過去の近隣トラブル(騒音等)について。
1. 騒音についてはどのような苦情があったのか。
 2. (回答) 過去にシャッターの開閉音に関する苦情があったが、静かな開閉を徹底するなど対策済みであり、現在は良好な関係を維持している。
- ⑤ (地域の関係者) 今後の課題について
1. 地域住民との交流は良好に進んでいる印象である。
 2. 職員の高齢化問題については、地域の主婦層などを対象にした求人活動も有効ではないか。
- ⑥ (福祉に知見のある人) 施設運営について
1. トラブル発生時の対応マニュアルの整備と、職員間の情報共有体制の強化が重要である。特に、一人の職員が負担を抱え込まないような仕組みづくりが必要。
 2. わっはっはの移転については、新しい移転先での近隣トラブルを未然に防ぐため、事前の挨拶や説明を丁寧に行うことが肝要である。

⑦ （事務局長）利用者支援について

1. 利用者の金銭管理や服薬管理、通院同行（病院での順番待ち含む）など、生活全般にわたるサポートを継続している。
2. 利用者会議: 3～4 ヶ月に一度の頻度で利用者会議を開催し、要望（食事のリクエスト、外出先の希望など）のヒアリングと、防災訓練などの情報共有を行っている。

⑧ （利用者家族）通院同行について

本来ならば親がついていかなければいけないところを同行してもらっていて、本当に助かっている。

(カ) 閉会あいさつ

- ① （事務局長）構成員に謝辞を述べ、来年度も地域連携推進会議を開催する旨を説明した。